

サンデー コラム

中村正・秋田屋本店社長

社会の一員として日々多くの読者の心を捉えてを過ごす中で「同窓会」

という言葉の響きは懐かし、同窓会は、二つの目的、郷愁をはじめ様々な意味合いを持ち、一人は会員相互の「交流」でひとりとって意義あるあり、もう一つは母校へ存在です。近年、社会が「支援」です。どちら複雑化し少子高齢化、人かといつと前者のイメー口減少の中で、「絆」をシが強く、特に一緒に学求める時、同窓会の存在んだ仲間との親睦が主とが大きなウェートを占めなりませんが、後者も重要です。

岐阜新聞には「同窓会だより」のコーナーがあり、たいへんな人気で、

同窓会の活性化



なかむら・ただし 195 代表幹事、岐阜南法人会副会
1年、岐阜市生まれ。業界団 長、岐阜商工会議所常議員、
体の県製薬協会、みつばち 県フェンシング協会、岐阜
の家庭事長、県養蜂組合連合 市体育協会副会長、岐阜北高
会長を務める。県経済同友会 校同窓会長を務める。

であります。

小生は高校の同窓会長 輩や後輩とのタテのパイ 抛出し易いとの観点から
を拝命して11年になりま プが太くなるなど「交流」 年会費制にしました。

が活発になってきまし、 年会費制による「支援」 ンド市の学校と姉妹提携
うち前者、「交流」の活 た。そこで、目的の後者、 は、母校の施設・設備の し、生徒が相互に訪問し、
性化を目指しました。関 「母校への支援」に着手 一助となるなど軌道に乗 交流を深めてまいりまし
東支部、関西支部の設置、 しました。「支援」の要 りつつあります。さらに た。国際交流の一環とし
3年に一度の総会を毎年 は年会費制の導入です。 意義ある支援として、在 て意義深い学校事業が継
の開催に変更、会員名簿 5年前の総会で採択し、 校生に向けた提案をして 承されています。年会費
の発刊、会報の年2回の 実施して4年目となりま います。

発行等です。また、総会 す。寄付とか広告協賛に、 それは入学当初からグ た事業の強化を進め、さ
開催の主管を10年毎の複 依存する学校が多い中、 ローバル人材の育成を図 らに留学にチャレンジす
数学年と協力して行つこ わが母校は公務員、教員、 るために、資金面で援助 る在校生をサポートした
とにより、同学年のヨコ 会社員の比率が高いた することです。グ と思います。

交流から社会貢献へ

ローバル化が 同窓会は自分たちが楽
求められる一 しむ場から発展し、社会
方で「内向き 貢献を実現する素晴らし
志向」、特に い集いとなります。